

同窓会報

名城大学農学部

第61号

平成15年8月1日

名城大学
農学部同窓会

平成14年度役員会・幹事会報告

(平成15年4月26日開催)

議題1 平成14年度事業報告

- (1) 大学の75周年記念に50万円を寄附。
- (2) 同窓会報第60号の発行。
- (3) 同窓会名簿を卒業記念品として卒業生に贈呈。
- (4) 退職教員3名に記念品を授与。

議題2 平成14年度決算報告

- (1) 一般会計決算(別表参照)。慶弔費が突出。5号館前庭管理は大学側が担当した。
- (2) 特別事業積立金決算(別表参照)。定期預金解約で12万円の利息が付いた。育英基金積立決算(別表参照)。
- (3) ペイオフ対策で450万円を郵便局に移した。

議題3 平成15年度事業計画

- (1) 同窓会報第61号の発行。
- (2) 同窓会名簿追録を卒業記念品とする。
- (3) 農学部同窓会総会を平成16年5月から幹事会と一緒に開催し、今後毎年この時期に総会を開催することになった。
- (4) 農学部同窓会創立50周年記念式典を平成18年の秋に開催するため、その準備委員会を設置することになった。

議題4 平成15年度予算案

- (1) 一般会計予算(別表参照)。
- (2) 特別事業積立金予算(別表参照)。
- (3) 育英基金積立予算(別表参照)。

報告

- (1) 大学の75周年記念の募金が平成16年3月まで延長。
- (2) 校友会に弁護士や会計士などの有資格者を登録。今後、支部総会の出前講演や、法律相談、結婚相談などを企画予定。
- (3) 校友会選出の理事の死去に伴う人事異動。愛知県支部設立問題。
- (4) 校友会事務局の移転と校友会館の再開発。
- (5) 校友会事務局の移転と校友会館の再開発。

学部だより

◆人事異動◆

退職

(平成15年3月31日)

環境土壌学研究室 田中啓文 教授
農場・野菜部門 川添文雄 助教授
農場・造園部門 田中幸男 助教授

田中啓文先生は、昭和51年に肥料学研究室に着任され、翌52年に教授に昇格、平成5年から環境土壌学研究室に移られました。定年まで数年ありましたが、余力を残して勇退されました。退職後は石垣島にある別邸に通ったりして、充実した人生を計画されています。



川添文雄先生は、昭和35年に園芸第一研究室の助手に採用され、昭和50年に農場に移られ、61年に助教に昇格されました。農場の野菜部門を一手に引き受け、温室建設など、農場の整備にご尽力されました。懐かしい先生が去っていくことになりましたが、農場の近くにお住まいですから、時々には農場に顔を出されるそうです。



田中幸男先生は、昭和32年に農場の助手として採用され、造園部門を一手に引き受けながら、竹の研究を続けられ、平成6年に助教に昇格されました。竹林は農場の貴重な財産となっています。先生も農場の近くにお住まいですから、時々には農場に顔を出されるそうです。

採用

(平成15年4月1日)

環境土壌学研究室 村山重俊 教授
農場・野菜部門 森田隆史 講師

村山重俊教授は田中啓文先生の後任として環境土壌学研究室に着任されました。これまで農業環境技術研究所などにお勤めで、主に糖質などの土壌有機物の動態や、北海道およびマレーシアの泥炭土壌の研究を行ってきたそうです。また、最近では河川水における重金属の動態に関する研究も行っているそうです。

森田隆史講師は川添文雄先生の後任として農場の野菜部門に着任されました。これまでは京都大学農学部付属農場にお勤めで、主にサトイモの貯蔵に関する研究や野菜栽培の省力化に関する研究を行ってきたそうです。

◆学部長・協議員・農場長改選◆

2月に選挙が行われ、学部長には新居教授、協議員には船隈教授が、それぞれ再選されました。農場長には稲垣教授が選出されました。

5号館建て替え問題と3学科体制への学部改組に向け、これまで通り進んでいくものと思われまます。

◆田植祭・収穫祭への招待◆

田植祭・収穫祭は昨年より土曜日に実施し、全学年の学生が参加するようにしました。卒業生もぜひ機会を作って鷹来の農場にお越し下さい。おもてなしはできませんが、歓迎いたします。事前に農場の方にご連絡いただければ幸いです。

今年の収穫祭は、10月18日(土)10時からです。平成16年の田植祭の日程は未定ですが、今年6月の第2土曜日でした。

◆田中(幸)先生 受賞◆

田中幸男先生は昔からマラソンで活躍され、後輩の指導にも当たってこられました。平成14年11月に文部科学省から「体育指導員功労賞」を受賞されました。おめでとうございます。